

秩父市「北部共同調理場」の視察

日本共産党秩父郡市議員団7名で「給食調理場視察と懇談」を行いました。場所は秩父市吉田にある「北部共同調理場」です。

この調理場は6校(吉田、尾田、大田の各小・中学校)と二園(吉田幼稚園)の給食をつくっています。合計1130食。

平成23年より稼働。26年から(株)メフォスという会社に民間委託されています。(秩父市は6ヶ所の調理場のうち5ヶ所が民間委託)

視察したこの調理場は「オール電化」(オール電化の調理場は県下で3ヶ所)一年間の電気代予算は1320万円。アレルギー対応について

や食材の地産地消、地元産材の使用、民間委託になったの問題点等、意見交換を行いました。給食食材の地産地消については「できるだけ秩父産を使い」という栄養士の話でしたが、秩父市においても、それをまかなうだけの地元産が確保できないというのは、皆野町と同じ状況でした。

また、秩父地域で給食調理の民間委託が進んでいることに驚きました。(横瀬も) 試食した給食は、とくに野菜スープは薄味でおいしかったです。(常山知子)



さて、今年の

ポピーまつりは?

ポピーまつりも年を重ね、マスコミにも取り上げられ、お客さまも増えているようです。役場からシャトルバスを利用しました。

係員の方の説明があり、きれいなポピーを見てもらうために、一年を通じてどんな作業が行われるか等のお話も良かったと思います。昨年心配された三沢のポピー街道の見物駐車場の車もそれほど

どなく、あまり危険は感じませんでした。地域の方の努力もあってポピー街道も大分のびてきたようです。牧場のポピーも年々面積が広がり、見応えのある広さになっています。

昨年感じた駐車場の土ほこりも結構牧草が残っているせいか気になりませんでした。牧場のほつからくだって駐車を待つ車の列は延々と続き、近県はもとより遠く山形、仙台、神戸のナンバーも見受けられ、人気の高さがかがわれました。

今回は、ポピーの会場から足をのばし、粥仁田峠まで行ってきました。シャトルバスがあると楽に行けますね。秩父困民党にも少しだけ思いをさせてきました。(武)



知子のひとこと

常山 知子

高原を吹き抜ける風の気持ちのいいことー空の青、白い雲がふわふわと、その下に広がるあでやかな赤やピンクのポピー畑が・・・

無料シャトルバスを利用して高原牧場へ。かき氷を求める行列、トイシを待つ行列、東秩父からの駐車場へ入る車の列、多くの人が訪れていました。

真っ赤なバラ、ピンクそして白いバラ、窓辺に巻き付くつるバラ。迷路のような手づくりの小道を歩きながら、今咲きほころばるバラをながめました。この時期、花見さんまいです。庭いじりが好きで、花を育てるのが大好きで、どんどんアイデアがふくらんで素敵な庭に変身。

旅行会社が募集した「みなのおーブンガーデンを訪ねるツアー」今年も花好きの人達を乗せて皆野にやってきましたそうです。

「近所の庭ならすぐにも見に行けるけど、町内の人たちが「オープンガーデンを訪ねる」そんな車を町が出してくれたらいいと思いませんか。「この庭をたくさんの人に見てもらいたい」私もそう思います。

野党・市民の共同で

戦争法(安保法制)廃止の政府 実現へ

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

つねやま ともこ
常山 知子

電話・FAX 62-6733